



「先生、これまでありがとう！」

3/11 園部幼稚園「お別れ会」

広報
なんたん

もくじ

- 2 4月1日から始まる新しい医療制度をお知らせします
- 4 スポーツ・文化の功績をたたえ表彰
- 8 功績や善行をたたえる ー平成19年度 南丹市表彰式ー
- 9 行政トピックス
- 10 いきいき南丹／ぶらりなんたん ～普門院～

3月号

2008年 Vol.27

四月一日から始まる新しい医療制度をお知らせします

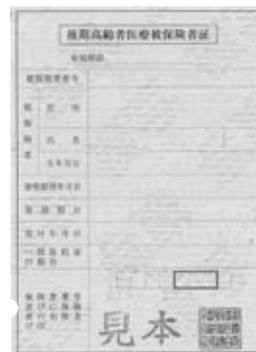
平成二十年四月から医療制度が大きく変わります。主な改正点は次のとおりです。

後期高齢者医療制度が始まります

七十五歳（一定の障がいがある人は六十五歳）以上の人は、現在、国民健康保険や社会保険と呼ばれる健康保険組合、共済組合などの医療保険に加入し「老人保健制度」で医療を受けられています。四月一日からは、制度が変わり、新たに独立した医療制度となる「後期高齢者医療制度」で医療を受けていただくこととなります。

保険証が変わります

医療機関などで受診する際、提示していた国民健康保険や社会保険の保険証と老人保険法の医療受給者証が、後期高齢者医療の保険証一枚を使用することになります。



▲後期高齢者医療の保険証

医療の給付については、現在の老人保健制度とほぼ同じです。

また、窓口での患者の負担は、今までどおり一割負担になります。（ただし、住民税課税所得が百四十五万円以上の人は三割負担）

保険料は一人ひとりに

かかります

社会保険の被保険者の扶養家族で、現在保険料を納めていない人も、新たに保険料を負担することになります。ただし、平成二十年四月から九月までは保険料が無料に、十月から翌年三月までは九割、その後一年間は五割が軽減される経過措置があります。

保険料はどう納めるの？

年金から自動的に差し引いて納める方法（特別徴収）と、個別に納める方法（普通徴収）があります。

【特別徴収となる人】

▼年金額が年額十八万円以上で、介護保険料と後期高齢者医療保険料を合わせた額が、年金額の二分の一を超えない人

※保険料は、年金の支払期（偶数月）ごとに、年金から自動的に保険料が差し引かれます。

【普通徴収となる人】

▼特別徴収の対象とならない人

保険料のお知らせ方法は？



【特別徴収となる人】

▼四月の年金振込日までに保険料（仮算定）を記載した通知書を送ります。

【普通徴収となる人】

▼七月に保険料額を記載した通知書を送ります。一年分の保険料を七月から九回に分けて、納付書または口座振替による普通徴収が始まります。

年度途中から加入した場合の保険料は？

保険料は月割りで計算され、被保険者である期間に相当する保険料額が賦課されます。

● 後期高齢者医療制度とは ●

現在、高齢者の医療費が増えています。安定した保険運営を行うため、75歳未満と75歳以上（後期高齢者）が公平に医療費を負担し、高齢者の特徴に応じた医療サービスを行うことを目指すための制度です。

運営主体は「京都府後期高齢者医療広域連合」となり、保険料の決定や医療の給付を行います。市は、各種申請や届け出の受け付け、保険証の引き渡し、保険料の徴収業務を行います。

**四十歳以上七十五歳未満の人を対象に、
特定健診・特定保健指導が始まります**

平成二十年度から市が実施してきた基本健康診査が、国民健康保険などの各保険者による「特定健診・特定保健指導」になります。

これは、生活習慣病を引き起こす確率が高いといわれているメタボリックシンドローム

(内臓脂肪症候群)を減らし、病気を予防することを目的として、健康診断とその後

の栄養・運動指導などを行うものです。南丹市国民健康保険では、四十歳～七十四歳の人を対象に行います。

特定健診を受診するには

●特定健診の受け方

健診を申し込まれた人に南丹市国民健康保険から「受診券」を送付します。集団健(検)診または指定の医療機関で受診してください。なお、受診の際は、必ず「受診券」と「国民健康保険証」をご持参ください。



●集団健(検)診(受診料:無料)

5月～6月に各地域を巡回します。

●個別健診(受診料:1,000円)

指定医療機関で5月～7月の間受診できます。

特定健診を積極的に受けましょう

皆さんに受診していただく特定健診の受診率は、皆さんに取めていただいている保険税額に影響します。自身の健康管理のためにも、特定健診を積極的に受けてください。

平成20年3月31日まで
3歳未満 2割負担



平成20年4月1日から
義務教育就学前 2割負担
(6歳に達する日以降の最初の3月31日まで)

義務教育就学前の子どもの自己負担割合が一割になります



乳幼児の医療費を二割負担に軽減する対象年齢が、「三歳未満」から「義務教育就学(小学校入学)前」までに拡充されます。二割となるのは「六歳に達する日以降の最初の三月三十一日まで」となります。 ※乳幼児医療等の適用を受けている人は今ままでおりの負担です。 ※申請などは必要ありません。

七十歳～七十四歳の人の医療費自己負担割合を据え置き

国民健康保険法の改正により、平成二十年四月からは、七十歳から七十四歳の人の医療費自己負担割合が、一割の人は二割へ見直されることとされていましたが、平成二十年四月から平成二十一年三月までの一年間、自己負担割合が一割に据え置かれます。

※現役並みの所得がある人で、高年齢者医療制度の対象となる一定の障がい認定を受けた人は除きます。

※平成十八年の制度改正で、七十歳から七十四歳の人の窓口負担について、平成二十年四月から二割負担(現役並み所得がある人で三割負担の人は除く)に見直されることとされてきたものを据え置くものです。

国民健康保険税の特別徴収(天引き)が始まります

国民健康保険法施行令などの一部改正により、平成二十年四月から六十五歳以上の人の国民健康保険税の特別徴収(年金から自動的に差し引いて納める年金天引き)が始まります。

世帯内の国民健康保険加入者全員が六十五歳以上七十五歳未満の世帯の世帯主であつて、年額十八万円以上の年金を受給している人が特別徴収の対象となります。

ただし、介護保険料と国民健康保険税の合算額が年金受給額の二分の一を超える場合は、国民健康保険税は特別徴収の対象としないこととなります。

なお、南丹市は、平成二十年十月から特別徴収を実施します。対象となる人には事前に通知します。



国民健康保険に関するお問い合わせ先

市役所国民保健課
☎〇七七―一六八―〇〇一一
各支所健康福祉課

八木 ☎(代)四二―二三〇〇
日吉 ☎六八―〇〇三二
美山 ☎六八―〇〇四一

スポーツ・文化の 功績をたたえ表彰

—平成十九年度 南丹市スポーツ・文化賞 表彰式—

二月二十四日、南丹市役所で「平成十九年度南丹市スポーツ・文化賞表彰式」を行い、十四の団体と、九十九人が表彰を受けられました。

南丹市スポーツ文化賞は、六十回全国高等学校陸上競技対校選手権大会男子フィールドの部四位／第六十回近畿高等学校陸上競技対校選手権大会男子フィールドの部優勝・総合の部五位)▼農芸高等学校パワーリフティング部(第二十五回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会女子団体総合優勝)

(敬称略)

■優秀スポーツ賞

《団体》

▼八木中学校男子低学年リレーチーム(近畿中学校陸上競技選手権大会二位・第六十回京都府中学校総合体育大会陸上競技四〇〇リレー優勝)

「廣瀬雄平、八木孝紘、川勝聖也、羽野弘樹」

▼園部高等学校陸上競技部(第

《高校生の部》

陸上競技円盤投優勝)▼太田翔

「園部中二年」(第五十三回全日本中学校通信陸上競技大会三〇〇リレー全国大会出場)▼藤村葵「殿田中一年」(第三十八回ジュニアオリンピック陸上競技大会出場一年女子一〇〇リレー代表四〇〇リレー／第六十回京都府中学校総合体育大会陸上競技一年女子一〇〇リ

二位)▼小泉佑介「園部中三年」(第二十一回全国都道府県対抗中学バレーボール大会出場)京都府選抜チーム▼八木孝紘「八木中一年」(第三十八回ジュニアオリンピック陸上競技大会府代表四〇〇リレー七位／第五十三回全日本中学校通信陸上競技大会京都府大会一年一〇〇リレー優勝／第六十回京都府中学校総合体育大会陸上競技大会一年一〇〇リ二位)

▼馬淵奏「西京高三年」(第六十回全国高等学校総合体育大会陸上競技女子四〇〇リ優勝・女子八〇〇リ二位・女子一六〇〇リレー二位／第六十二回国民体育大会陸上競技少年A女子四〇〇リ二位)

▼小西和伸「園部高三年」(第四十五回全国高等学校ライフル射撃選手権大会一〇リS六〇JM出場／第六十二回国民体育大会少年男子エアライフル競技出場／第六十二回国民体育大会近畿ブロック予選少年男子エアライフル立射六〇発競技三位／平成十九年度全国高等学校ライフル射撃選手権大会京都府予選会一〇リS六〇JM優勝・BR S六〇JM二位)▼長谷川貴俊「園部高三年」(第四十五回全国高等学校ライフル射撃選手権大会BRBS四〇JW出場)▼花村文恵「園部高三年」(第二十六回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会BR S四〇JW六位／第六十二回国民体育大会少年女子エアライフル競技出場／平成十九年度JOCジュニアオリンピックカップ一〇リS四〇JW出場／第四十五回全国高等学校ライフル射撃選手権大会京都府予選会一〇リS四〇JW優勝・BR S四〇JW優勝)▼波多野翔子「園部高二年」(第四十五回全国高等学校ライフル射撃選手権大会BRBS四〇JW出場／

第六十二回国民体育大会近畿ブロック予選少年女子チームライフル立射四〇発競技三位)▼野中直道「園部高三年」(第六十回全国高等学校総合体育大会陸上競技ハンマー投二位／第六十二回国民体育大会陸上競技少年Aハンマー投二位(六五リ一〇・日本高校生)／第二十三回日本ジュニア陸上競技選手権大会ハンマー投四位)▼宮木淳平「園部高三年」(第六十回全国高等学校総合体育大会陸上競技円盤投四位／第二十三回日本ジュニア陸上競技選手権大会円盤投四位)▼第二回京都府公立高等学校陸上競技対校選手権大会円盤投優勝(五五リ八九京都高校新)▼中西一平「園部高三年」(第六十回京都府高等学校陸上競技対校選手権大会やり投優勝)▼鹿取一馬「園部高一年」(第四十回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会円盤投二位／第四十二回京都府高等学校ジュニア陸上競技対校選手権大会円盤投二位)▼造酒泰子「農芸高三年」(二〇〇七年サブジュニアパワーリフティング選手権大会女子四八キ級二位／第四回全日本選抜高等学

校パワーリフティング選手権
大会女子四八キ級優勝)▼久
保元人「農芸高三年」(二〇〇七
年サブジュニアパワーリフティ
ング選手権大会男子五六キ級
七位/第四回全日本選抜高等
学校パワーリフティング選手
権大会男子五六キ級優勝)▼
清水哲太「農芸高三年」(第四
回全日本選抜高等学校パワ
ーリフティング選手権大会男子
七五キ級八位)▼尾上みさき
「農芸高二年」(二〇〇七年サ
ブジュニアパワーリフティング
選手権大会女子八二・五キ級七
位)▼鈴木美貴子「農芸高二年」
(第二十五回全日本高等学校パ
ワーリフティング選手権大会
女子六〇キ級優勝)▼徳島瑞希
「農芸高一年」(第二十五回全日
本高等学校パワーリフティ
ング選手権大会男子八二・五キ級
十一位)▼奥戸知香「農芸高
一年」(第二十五回全日本高等
学校パワーリフティング選手
権大会女子五六キ級二位)▼
名古屋平「北桑田高美山分校
四年」(第四十二回全国高等学
校定時制通信制陸上競技大会
走り幅跳・三段跳び出場/第
四十三回近畿高等学校定時制
通信制課程体育大会陸上競技

の部走高跳三位)▼五百木優
也「北桑田高美山分校二年」(第
四十二回全国高等学校定時制
通信制陸上競技大会四〇〇以
上・一六〇〇以りレレー出場)▼
矢野誠也「北桑田高美山分校
二年」(第四十二回全国高等学
校定時制通信制陸上競技大会
円盤投出場/第四十三回近畿
高等学校定時制通信制課程体
育大会陸上競技の部円盤投二
位)▼原田亜紀「北桑田高美
山分校二年」(第四十二回全国
高等学校定時制通信制陸上競
技大会一〇〇以りH八位・四〇〇
以りレレー)▼松木綾香「北桑田
高美山分校二年」(第四十三回
全国高等学校定時制通信制陸
上競技大会一〇〇以りH七位/
第四十二回近畿高等学校定時
制通信制課程体育大会陸上競
技の部一〇〇以りH優勝・円盤投
三位)

拳教室」(第十五回京都府武術
太極拳競技大会二四式太極拳
C優秀賞・総合太極拳A B二
位)
■スポーツ賞
《団体》
【中学生の部】
▼園部中学校男子ソフトテ
ニス部(第六十回京都府中学校
総合体育大会ソフトテニス団
体三位)
【高校生の部】
▼北桑田高等学校美山分校陸
上競技部(第四十三回近畿高
等学校定時制通信制課程体育
大会陸上競技の部学校対抗男
子六位・女子五位)
【一般の部】
▼南丹市卓球バレーチーム「南
丹市身体障害者福祉会八木支
部」(第三十回京都府民総合体
育大会市町村交流種目卓球バ
レー競技二位)
《個人》
【中学生の部】
▼吉川大地・前田晃大「園部
中二年」(京都府中学校ソフト
テニス新人大会三位)▼山脇未
有「八木中二年」(第六十回京
都府中学校総合体育大会体操
競技個人総合二位)

【高校生の部】
▼竹上千咲「桂高一年」(第
四十回近畿高校ユース陸上競
技対校選手権大会一年女子
一五〇〇以り四位)▼笠原孝夫「園
部高三年」(第六十二回京都陸
上競技選手権大会ハンマー投
少年A二位)▼中嶋紘希「園
部高一年」(第六十二回京都陸
上競技選手権大会一〇〇以り少
年B二位)▼小嶋敬司「園部
高一年」(第六十二回京都陸上
競技選手権大会八〇〇以り少年
B三位)▼岡本潤基「南丹高
三年」(第二回京都府国公立高
等学校陸上競技対校選手権大
会一五〇〇以り三位)
【一般の部】
▼藤林裕「府民総体南丹市陸
上代表チーム」(第三十回京都
府民総合体育大会陸上競技成
年男子砲丸投げ二位)▼中村
映里乃「府民総体南丹市陸上
代表チーム」(第三十回京都府
民総合体育大会陸上競技一般
女子走り幅跳び三位)



▲スポーツの分野で活躍された人を表彰

優秀文化賞
《団体》
【高校生の部】
▼農芸高等学校農業クラブ専
門部畜産部(第二十三回中国
地区ブラック&ホワイトシヨウ
チャンピオン・最優秀出品校
受賞/第二十九回京都府ホル
スタイン共進会グランドチャン
ピオン(京都府知事賞)/第
七回全日本ブラック&ホワイ
トシヨウ一等一席受賞)
《個人》
【中学生の部】
▼今西千輝「八木中三年」(平
成十九年度南丹地区小学校駅
伝競走大会ポスターコンク
ル京都府知事賞)▼人見真奈
美「八木中三年」(全国書画展
覧会「書写のワールドカップ大
会」金賞)▼藤坂優加「八木
中二年」(全国書画展覧会「書
写のワールドカップ大会」金賞)
▼中村康太郎「八木中一年」(全

国中学校人権作文コンクール
中央大会法務省人権擁護局長
賞)▼向井歩美「殿田中三年」
(南丹美術工芸教育展中学校平
面作品の部京都府知事賞)▼
竹内翼「美山中三年」(全国中
学生人権作文コンテスト京都
大会京都府人権擁護委員連合
会長賞)▼中澤廣紀「美山中
三年」(第二十九回「少年の主
張」京都府大会京都府教育委
員会教育長賞)
【高校生部】
▼廣瀬加耶「園部高一年」(平
成十九年度明るい選挙啓発ポ
スター京都府選挙管理委員会
委員長賞)▼田中冬基「農芸
高三年」(第五十五回近畿学
校農業クラブ連盟大会意見発
表(区分・食料)優秀賞/第
五十八回京都府学校農業クラ
ブ連盟大会意見発表(区分・
食料)最優秀賞)▼畑唯「農
芸高三年」(第五十八回日本
学校農業クラブ全国大会農業
鑑定競技(草花)優秀賞)▼
神崎将弥「農芸高三年」(第
五十八回日本学校農業クラブ
全国大会農業鑑定競技(造園)
優秀賞)▼福田健輔「農芸高
三年」(第五十八回日本学校農
業クラブ全国大会農業鑑定競



▲文化・芸術の分野で活躍された人を表彰

技(造園)優秀賞)▼前川麗
「農芸高三年」(第五十八回日
本学校農業クラブ全国大会農
業鑑定競技(農業土木)優秀
賞)▼竹岡秀信「農芸高二年」
(第五十八回日本学校農業クラ
ブ全国大会農業鑑定競技(農
業)優秀賞)▼新宮由子「農
芸高二年」(第五十八回日本学
校農業クラブ全国大会農業鑑
定競技(畜産)優秀賞)▼内
藤将人「亀岡高二年」(南丹美
術工芸教育展府立学校平面作
品の部京都府知事賞)▼平井
秀「南丹高二年」(南丹美術工
芸教育展府立学校立体作品の
部京都府知事賞)▼竹内和宏
「北桑田高三年」(ストップ温暖
化「一村一品」大作戦全国大会

(環境省主催)最優秀賞)▼前
田憲吾「北桑田高三年」(ストッ
プ温暖化「一村一品」大作戦全
国大会(環境省主催)最優秀賞)
▼福井陽太「北桑田高三年」(ス
トップ温暖化「一村一品」大作
戦全国大会(環境省主催)最
優秀賞)▼寺坂美希「北桑田
高三年」(ストップ温暖化「一
村一品」大作戦全国大会(環
境省主催)最優秀賞)▼本郷
早紀「北桑田高三年」(ストッ
プ温暖化「一村一品」大作戦全
国大会(環境省主催)最優秀賞)
■文化賞
【団体】
【中学生部】
▼園部中学校ブラスバンド部
(京都府吹奏楽コンクール金
賞)
【個人】
【中学生部】
▼平田咲「園部中三年」(南丹
美術工芸教育展中学生立体作
品の部京都府伝統工芸大学校理
事長賞)▼松本麻希「八木中
三年」(南丹美術工芸教育展
中学生立体作品の部京都新聞
社賞)▼榎本美咲「殿田中三
年」(全国中学生人権作文コン
テスト京都大会京都新聞社賞)

▼吉田知子「美山中三年」(第
二十九回「少年の主張」京都
府大会京都府青少年育成協会
会長賞)▼外田遼「美山中三
年」(第二十九回「少年の主張」
京都府大会京都府PTA協議
会会長賞)▼元山高嶺「美山
中三年」(第二十九回「少年の
主張」京都府大会京都府公立
中学校長会会長賞)▼井上由
衣「美山中三年」(全国中学生
人権作文コンテスト京都大会
KBS京都賞)▼藤井裕子「美
山中三年」(南丹美術工芸教育
展中学生立体作品の部京都府
統一工芸大学校理事長賞)▼下
伊豆ななみ「美山中一年」(南
丹美術工芸教育展中学生立体
作品の部京都府教育委員会教
育長賞)
【高校生部】
▼西村香織「農芸高三年」(第
五十八回日本学校農業クラブ
全国大会農業鑑定競技(草花)
出場)▼林知得「農芸高三年」
(第五十九回日本学校農業クラ
ブ全国大会農業鑑定競技(草
花)出場)▼渡辺良介「農芸高
三年」(南丹美術工芸教育展
立学校平面作品の部京都新聞
社賞)▼森悠哉「園部高一年」
(南丹美術工芸教育展府立学校

平面作品の部京都府教育委員
会教育長賞)
【表彰】
【スポーツ部】
【団体】
▼園部小学校男子リレーチー
ム(第二十三回京都府小学生
陸上競技選手権大会四〇〇リ
レー四位)「中山励、矢野雄
大、谷村駿介、樋口基紀」▼
園部小学校駅伝チーム(第三
回南丹地区小学校駅伝競走大
会「キッズふれあい駅伝」優勝
「樋口基紀、谷村駿介、西川愛、
中山励、中村美月、岡英里奈、
白井凌、広瀬梨梨)▼園部小
学生バレーボールクラブ男
子(京都府小学生新人大会三
位/全京都小学生バレーボー
ル大会三位/京都府スポーツ
少年団春季大会二位/京都府
スポーツ少年団秋季大会優勝)
▼園部小学生バレーボールク
ラブ女子(全京都小学生バレー
ボール大会三位/第二十五回
京都府小学生バレーボール選
手権大会三位)
【個人】
▼熊本啓佑「摩気小五年」(第
十八回京都府少年少女柔道
チャンピオン大会五位・敢闘

- 賞／第十八回京都府少年少女柔道チャンピオン大会口丹プロック予選優勝・代表選出)
- ▼**所大地**「八木小五年」(第二十六回南丹船井少年少女剣道大会五年生男子の部優勝・小中混合団体の部二位) ▼**大狩光貴**「八木小六年」(第八回小学生ABCバドミントン選手権大会京都府予選優勝／第十六回小学生バドミントン大会京都府予選優勝)
- 【文化の部】
- 《団体》
- ▼**平屋小学校**(平成十九年度「みんなで読もう!」○○〇万冊読書キャンペーン)京都府知事賞) ▼**吉富小学校**(平成十九年度「二十一世紀、新しい時代の健康教育推進学校表彰」優秀校)
- 《個人》
- ▼**福島和真**「園部第二小六年」(南丹美術工芸教育展小学校立体作品の部京都府伝統工芸大学校理事賞) ▼**川本杏実**「園部小二年」(第五十三回青少年読書感想文京都府コンクール京都府知事賞) ▼**美馬有津沙**「八木小四年」(平成十九年度J A 共済京都府小・中学生書道コンクール(半紙の部) J A 共済連京都本部長賞金賞) ▼**亀安このみ**「八木小一年」(南丹美術工芸教育展小学生平面作品の部京都府教育委員会教育賞) ▼**西川聖二**「新庄小二年」(平成十九年度緑化運動ポスターコンクール京都府知事賞) ▼**藤林チエ**「吉富小六年」(第五十二回青少年読書感想文京都府コンクール毎日新聞社京都支局長賞／第五十三回青少年読書感想文京都府コンクール京都府図書館協議会長賞) ▼**今西舞**「吉富小一年」(第三十二回「ごほん・お米とわたし」図画コンクール(J Aグループ京都主催)京都府知事賞) ▼**星尾玄**「神吉小五年」(南丹美術工芸教育展小学校平面作品の部南丹教育委員会連絡協議会長賞) ▼**湯浅貴文**「殿田小五年」(南丹美術工芸教育展小学校立体作品の部京都府知事賞) ▼**湯浅雄仁**「殿田小一年」(南丹美術工芸教育展小学生平面作品の部京都新聞社賞) ▼**古谷尚之**「平屋小五年」(平成十九年度南丹地区小学校駅伝競走大会ポスターコンクール最優秀賞) ▼**小島拓也**「平屋小五年」(南丹美術工芸教育展小学生平面作品の部南丹教育委員会連絡協議会長賞) ▼**神さやか**「大野小三年」(南丹美術工芸教育展小学生平面作品の部京都新聞社賞) ▼**三削美沙樹**「鶴ヶ岡小五年」(第三十回記念京都子ども美術展京都府知事賞) ▼**田口僚馬**「鶴ヶ岡小四年」(平成十九年度京都府統計グラフコンクール京都府教育委員会教育賞) ▼**小林のぞみ**「鶴ヶ岡小三年」(平成十九年度京都府統計グラフコンクール京都新聞社賞) ▼**中野力也**「宮島小五年」(南丹美術工芸教育展小学生立体作品の部京都新聞社賞) ▼**和田健汰**「丹波養護学校四年」(南丹美術工芸教育展府立学校平面作品の部京都府伝統工芸大学校長賞) ▼**矢野歌恋**「園部幼稚園」(南丹美術工芸教育展幼稚園平面作品の部京都府知事賞) ▼**宅間太洋**「八木中央幼稚園」(南丹美術工芸教育展幼稚園平面作品の部京都府教育委員会連絡協議会長賞)
- 功労賞
- 《個人》
- ▼**白波瀬和彦**「園部中学校教諭」 ▼**嶋村益廣**「八木町剣道スポーツ少年団指導者」



▲おおよそ100人が出席し、一人ひとりに表彰状が手渡されました



功績や善行 をたたえる

—平成19年度 南丹市表彰式—

二月二十日、南丹市国際交流会館で、平成十九年度南丹市表彰式を行いました。市に功績や善行のあった個人や団体をたたえるもので、本年度は三人の方と一団体を表彰。また、二人の方に感謝状を贈呈しました。なお、表彰を受けた方、功績などは次のとおりです。

功績者表彰

(順不同・敬称略)

谷利 静夫

(広域合併後のJA代表理事
理事長など、多年にわたり
産業関係団体の役員を歴
任され、地域農業の振興と
生活の安定向上など、本市
の産業の振興発展に貢献。
旭日双光章受章)

日吉町森林組合

(効率的に施業を実施する
「提案型集約化施業」の展
開や、簡易な作業路網と高
性能林業機械を組み合わせ
た低コスト間伐の推進な
ど、本市の林業振興に貢
献。農林水産祭天皇杯受
賞。全国林業経営推奨行事
農林水産大臣賞受賞)

菅生 桃子

(二〇〇七世界サブジュニア・
パワーリフティング選手権
大会女子五十六キ級優勝。
第二十五回全日本高等学校

パワーリフティング選手権
大会女子五十六キ級優勝。
※昨年度、初出場のブルガ
リア大会において第三位入
賞。その後の努力が実り、
今回念願の世界大会優勝に
輝く)

善行者表彰

(敬称略)

塩貝 喜内

(南丹市立殿田小学校校舎備
品購入資金として多額の私
財を寄付)

感謝状贈呈

(順不同・敬称略)

麻田 弦

(南丹市立文化博物館に故・
麻田辨自画伯、故・麻田浩
画伯の作品を寄付)

佐竹 妙子

(南丹市立文化博物館に故・
麻田辨自画伯の作品を寄
付)

自転車同乗幼児の ヘルメット着用が 義務化されます

4月1日
から

自転車Q&A

Q 幼児は何人まで同乗させ
ることが出来ますか？

A 原則として、十六歳以上
の者が、六歳未満の幼児
を一人だけ同乗させるこ
とができます。

Q ヘルメットはどこで販売
されていますか？

A 自転車販売店、ホームセ
ンターなどで販売されて
います。商品により異な
りますが、三千円前後が
一般的な価格となってい
ます。

Q どのようなヘルメットを
買うのがよいですか？

A 安全性の確保という点か
ら、SGマークなどの安
全基準適合
表示のある
ヘルメット
をお勧めし
ます。



▲SGマーク

お問い合わせ先

京都府交通対策課

☎〇七五(四一四)四三六七



- ① ヘルメットをかぶせる
- ② 最初に乗せ、最後に降ろす
- ③ 乗せたまま、自転車から離
れない
を心掛けてください。



南丹市に広がる国際交流の輪 —サイパン島青少年訪日団歓迎事業—



▲書道体験するサイパン島の生徒と温かく見守る参加者

二月六日、サイパン島の青少年ら約二十人が南丹市を訪れ、市内の中学生や日吉国際交流協会員、一般参加者など約六十人と市日吉町生涯学習センターで交流しました。

参加者を代表して四人の中学生が英語で歓迎スピーチをしたあと、サイパン島の生徒たちがダンスを披露。参加者もステージに上がり一緒に踊りました。その後、書道やお茶席、折り紙などを体験。美山中学校二年の中藤りんさんは「もつと英語を勉強したいと思った」と初めての交流に目を輝かせていました。



▲パネルディスカッションでは女性の社会参加に向けた意見を交換

男女が共に輝けるまちなぎを 目指すフォーラム

—男女共同参画フォーラム「キラリなんたん」

二月二日、市日吉町生涯学習センターで、第二回南丹市男女共同参画フォーラム「キラリなんたん」が開催され約百八十人が参加しました。

これは、男女がお互いを尊重し一人ひとりの個性や能力を発揮できるまちなぎを目指して開催されたものです。フォーラムでは実行委員長の野々口きぬ多さんが「皆さんと共に、男女共同参画の輪を広げたい」とあいさつ。また、元京都府婦人教育会館館長の小田博子さんの講演やパネルディスカッションなどが行われました。

産・官・学が協力して 森を守り育てる運動

—「森林の利用保全に関する協定」調印式—

二月五日、京都モデルフォレスト運動として、美山町宮脇地区での森林の利用保全に関する協定の調印式が、京都府公館で行われました。

京都モデルフォレスト運動は、府民がみんなで京都の森を守り育てていく活動です。

平成十八年十一月に京都府が中心となり、京都モデルフォレスト協会が設立され、地球温暖化防止や景観保全、防災などの目的で地域と企業、団体などが連携して森林保全活動を進めています。

協定では、機械器具商社の三共精機株式会社（京都市南区）と佛教大学が、南丹市、京都府、京都モデルフォレスト協会、地元宮脇地区の森

林保全活動を行うボランティア団体のみやわきBilliyなど協働して森林利用保全活動を行うことについて、調印されました。今後は、「つながりの森づくり」をテーマに、植樹や間伐などの森林保全活動のほか、樹木調査や野鳥観察などの森林や環境についての学習活動が、宮脇地区の森林で行われます。



▲府公館で行われた調印式

市議会議長に吉田繁治氏・副議長に八木眞氏

三月三日に行われた市議会では、市議会議長に吉田繁治氏が、副議長に八木眞議員が選出されました。



南丹市議会議長
吉田 繁治氏



南丹市議会副議長
八木 眞氏

いきいき南丹

-24-

お元氣ですか？
保健師です。



赤ちゃんのBCG接種で結核予防

～ご存じですか？「結核」のこと～

「結核」というと過去の病気と思われる方もあるかと思いますが、日本でも毎年三万人近くが発症している、現代の感染症なのです。

『結核』とは？

結核は、結核菌という細菌が原因となって起きる病気で、空気を媒介して人から人に感染します。結核は主に肺に炎症を起こす病気ですが、骨や腎臓などにも病巣を作る場合があります。

どうやって感染する？

咳やくしゃみをした時に、飛び散る唾やタンなどの中の結核菌を周りの人が吸い込むことによって感染します。

唾やタンの中に菌を出していない軽症の場合は、他人にうつす恐れはありません。

『感染』と『発病』

結核菌に感染しても、必ずしも発病するわけではありません。身体の免疫機能が働いて、結核菌の増殖を抑えまです。しかし、結核菌を免疫力だけでは完全に殺すことはできません。身体の免疫力が弱まると、再び菌が増殖し活発に活動を始め発病します。

乳児期の予防接種を確実に

抵抗力のない赤ちゃんは、結核に感染すると重症化しやすく、生命にもかかわることがあります。それを予防するのがBCG接種です。

お母さんから赤ちゃんに受け継がれた、病気に対する抵抗力（免疫）は、生後八ヵ月ごろまでに自然に失われます。この時期を過ぎると赤ちゃん自身が免疫を作って病気を予防する必要がでてきます。これに役立つのが予防接種です。

BCGは毒性を弱めたウシ型結核菌で作ったワクチンで、結核の免疫をつけるために接種します。このBCG接

種によって、重症の結核の約八割が予防できるといわれています。接種期間は生後六ヵ月までに受けることが定められており、南丹市では三〜四ヵ月児健診で実施しています。

乳幼児の結核の多くは家族から感染しています。つまり、赤ちゃんを結核から守るには家族が結核に対する知識を持ち、日ごろから健康管理を行うことが大切なのです。

早期発見・早期治療を

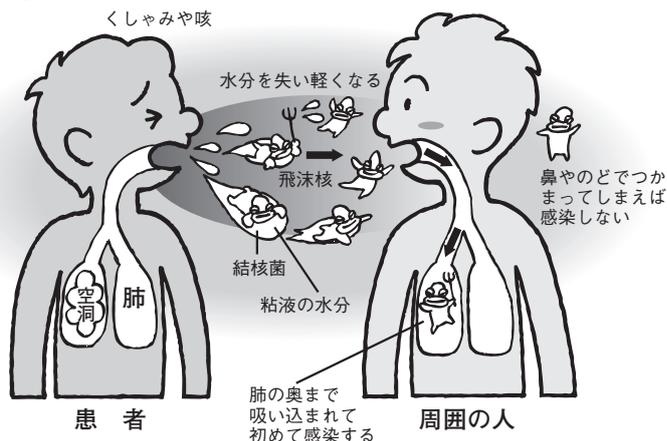
結核は、何よりも早期発見・早期治療が大切です。結核の初期症状は風邪とよく似ていますが、気付かないまま病状が悪化することがあります。風邪かな？と思っても、長引く咳や、微熱、倦怠感・タンが出る・体重減少・胸痛などの症状の時は、結核を疑って病院で検査をしてください。

また、高齢者は若い頃に結核が流行したため、結核にすでに感染している人が多く、加齢や病気などで体力・抵抗

力が低下した時に、眠っていた菌が目覚まし発病しやすくなります。

結核は服薬すれば治ります

結核を発病しても規則的に服薬すれば治ります。逆に、不規則な服薬を続けると、結核菌がその薬に対して耐性を持つてしまい、薬が効かない菌（耐性菌）ができてしまいます。大事なのは、処方された薬をきちんと飲むことです。



ぶらり

なんたん 24

～ 普門院 ～

牧山の里に、代々守り継がれる祈る心



▲本尊は33年に一度開帳されます

日吉町中世木。杉木立に囲まれた細い坂道をつづら折りに上り詰めると、西牧山の小さな集落が見えてきます。ここには、普門院と大山祇神社が一つ所に並んであります。かつては七間四面の本堂のほか、七堂伽藍がそびえ立っていたそうですが、幾度かの火災と、天正年間に明智光秀が周山城を築く際、ほとんどが打ち壊されてその用材にされたと伝えられています。

かつて不動坂にあった不動尊像、左には引尾峠にあった毘沙門天立像（府指定文化財）が合祀されています。



▲丁重に収蔵庫で保管される懸仏

現在の地に移築されたのは明治十四年。本堂に安置される本尊の聖観世音菩薩（市指定文化財）は三十三年に一度開帳される秘仏で、昭和六十年の法要で開帳されて以来、固く守られています。右には懸仏が一方所に伝存するのは貴重とされています。毎年八月二十四日、盂蘭盆の夜には、ここで牧山の松明行事（府登録無形民俗文化財）が行われ、燃え上がる松明と里帰りの人々が集落が明るくこうこうと照らされます。

ちり業内



普門院壇徒総代 中川 輝男 さん

雪深い牧山で、温かく迎えていただいたのは、壇徒総代の中川輝男さんと牧山総代の中川宏さん。わずか10数軒の集落ながら、支えあって集落や寺社を代々守り続けておられます。毎月1回、集落の女性たちが普門院に寄り集まって御詠歌をあげる「観音講」は、何百年と続けられているとのこと。「秘境を逆手に、今こそ牧山の魅力を発掘し、広く発信していかなければ」と、集落一の若手であり、“京の田舎ぐらしナビゲーター”にも認定されている中川輝男さん。ふるさとを愛する思いと強い意気込みが感じられました。

◇普門院に関する問い合わせ先 ☎ (0771) 72-0805

「牧山の秘仏観音」

用明天皇に聖徳太子という皇子がいた。太子はある夜、こんな夢を見た。まっ白い髪、長く垂れ下った銀色のあごヒゲを持つお年寄りが枕もとに現れ「観音さまという仏さまは、大変ご利益の多いありがたい仏さまだから、彫刻をしておまつりなさい」というと、スッと消えてしまった。太子は、さっそく三礼し、一刀彫りの立派な観音さまを彫りあげ、牧山の里（日吉町中世木）にまつた。年月がたったある年、どうしたことが火事になりお堂の中は火の海。村人たちは一生懸命水をかけたが、火勢をとめることはできなかつた。そのとき燃えさかる火の海の中から、白髪に長いあごヒゲを生やしたお年寄りが、観音さまを背負って出てき、弁天池のほとりに置いて、東の山中へ消えた。「あの老人はきつと明神さまの蔵王権現に違いない」と、それ以来、牧山の村人たちは秘仏として、三十三年ごとに扉を開き、大きなお祭りをすることになっている。

「ひよし昔ばなし」より抜粋

各図書館の開館時間

中央図書館：9時～17時

八木図書室：(平日)10時～18時・(日曜)10時～17時

日吉図書室：(平日) 9時～18時

(土・日) 9時～17時

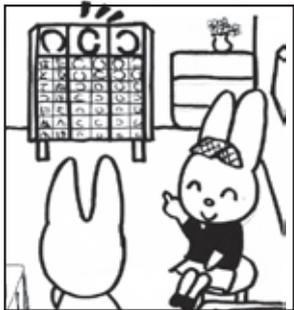
美山図書室：9時～17時・(金曜のみ)11時～18時

図書館へようこそ!



イメージキャラクター“なびっと” No.9

なびっとの 4こまマンガ —視力検査—



作：平岩 蘭さん

※この作品は、平成19年8月に募集した「なびっと4こまマンガ」の中から掲載しています。



▲図書館・室で毎月行っているおはなし会

おはなし会の日程は、各図書館・室で配布している「おはなしかいカレンダー」や、図書館ホームページ (<http://library.intracity.nantan.kyoto.jp/>) でご覧いただけます。

南丹市の図書館・室では毎月、乳幼児とその保護者を対象にした「おはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせなど親子で楽しめますので、気軽に参加してください。

平成十八年から、おはなし会に参加していただいた方にお渡ししていた「本の親子手帳」を、この春、リニューアルします。内容もより充実し、本を通して育児を楽しんでもらえるようになっています。

でもらえるようになっていきます。月ごとに、おすすめの絵本を載せ、簡単な成長メモを記入してもらえようになっています。記録にもなります。おはなし会に参加されるたびに押さえてゆくスタンプが、いくつ増えるか、お子さんとチャレンジしてみてください。



▲本の親子手帳

「本の親子手帳」が この春、新しくなります

新刊紹介



「千ドルのつかいみち」
作…オー・ヘンリー

発行…理論社

大金持ちの親せきが主人公に残した遺産は、たったの千ドル。しかもその使い道を報告するように言われて…。

シヨートストーリーの名手が贈る七つの短編集。



「日本の戦争」
著…水上勉

発行…新日本出版社

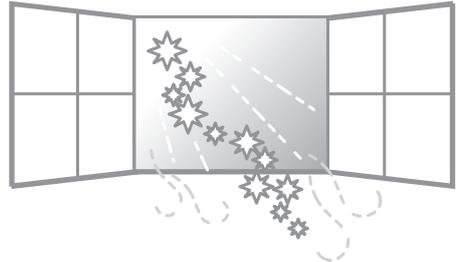
日本が行った戦争について深い思いを持ち、そのことを多くの作品の中に強く表現してきた水上勉の、彼自身の戦争体験からつむがれた七作品を収録しています。

「まぼろし商店街」
著：申間努
発行：ソフトバンククリエイティブ

日本中が好景気になり、高度成長時代と呼ばれた昭和四十年代、この時代の懐かしグッズを「文房具」、「おもちゃ」と、売り場別にまとめて、商店街のように構成しています。

「共に過ごし、育まれる心」

人権の窓を開けて、優しい陽の光と、さわやかな風を感じてください



広

報なんたん一月号に全国中学生人権作文コンテストの入賞作品が掲載されていました。八木中学校の村君の作文は目の見えない女の子のことに書いて書かれたものでした。中村君はその女の子と二日間一緒に過ごし、その女の子の無心に一生懸命生きている姿に感動し、「小さいけれどとても偉大に感じた」と書いていました。

この作文を読み、私は学生時代に手の不自由な友人と出会ったことを思い出しました。出会った時は、どう接してよいのかわからず、いままが、時がたつにつれて、共に学び遊ぶうちに、いつの間にかとても仲良くなっています。話すことや一緒に過ごすことの大切さを強く感じた経験でした。

私

の勤務校の鶴ヶ岡小学校の小規模校で、音読や合唱、掃除や遊びなど、いろいろなことを全校一緒に行っています。このように全校生が交わる機会を多くすることで、上級生は下級生のことを気遣

い、優しく面倒を見る態度が自然と身に付いてきているようです。

また特別支援学級の児童と共に遊んだり学習したり、美山町の「こぶしの里」(生活支援総合センター)を訪問して交流したりもしています。

子

どもたちは年齢の違う人や障がいのある人、外国の人など、自分と違ういろいろな人と接し、共に活動する機会を多く持つことで、相手のことが分かり、自然に思いやりのある接し方ができるようになっていくと思います。

そうした子どもたちの気づきや変容に共感し、心豊かに育つ子どもたちを支えていきたいと思っています。

鶴ヶ岡小学校特別支援学級担任

鳥羽敏之



なんたんミュージアム ⑧

南丹市立園部第二小学校



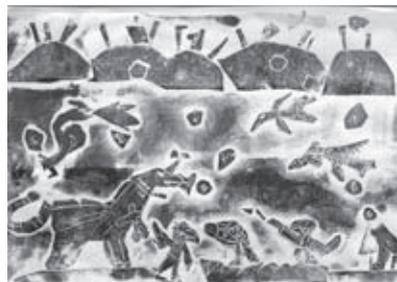
▲「あるくライオン」
高屋 雄太さん(1年)



「なわとびをしているぼく」
横畑 恵大さん(2年)



▲「今年の干支版画」
西田 沙矢さん(5年)



▲「たたかい」大内 琉成さん(3年)



「顔」岡本 幸大さん(4年)



▲「思い出」宇野 荘さん(6年)

南丹市母子寡婦福祉会（岸本壽枝会長）の主催による南丹市母子寡婦親子の集いが、市日吉町生涯学習センターで行われました。南部自立支援センターの水上恭子さんによる「自立に向かって新しいスタート」と題した講演が行われ、就労や親子関係などについて「忙しくとも常に子どもに寄り添ってほしい。また周囲とのコミュニケーションをとり、助け合える環境を築くことが大切」と話されました。



▲講演でコミュニケーションの大切さを話される水上さん

「周りと助け合える環境を築き
自立に向かって新しいスタート」

(2 / 10 南丹市母子寡婦親子の集い)

「地域活性化に寄与
府スポーツ賞受賞」

(平成十九年京都府スポーツ賞)



▲京都府スポーツ賞を受賞された名古さん

平成19年京都府スポーツ賞(功労賞)を名古友弘さん(美山町河内谷)が受賞されました。名古さんは旧美山町では美山町体育協会副会長・会長を歴任され、「美山町インディアカ協会」の設立に貢献されるなど、地域のスポーツ振興に寄与されました。合併後は市域を一体化する新組織の創設に指導力を発揮され、市体育協会設立後は副会長に就任されました。現在は、同協会理事として、地域のスポーツイベントの企画・運営など精力的に行っておられます。

みんなのひろば

まちの話題を
紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0019へお寄せください。

「さあ、さがそうよ『青い鳥』を」

(2 / 24 市民参加型ミュージカル「丹波版青い鳥」初公演)

市民ミュージカルをつくる会「J丹musica(タンタムジカ:西田ひとみ代表)」の初公演が市日吉町生涯学習センターで行われ、昼の部、夜の部を合わせ約470人の観客を魅了しました。モーリス・メーテルリンク原作の「青い鳥」をベースに、南丹地域ならではの演出を取り入れて創り上げられた作品には、秋の収穫を祝う「亥の子の牡丹餅」なども歌われました。

平成18年7月に、緑豊かな南丹地域に暮らし、子どもたちが心豊かに育ってほしいと願う母親たちがミュージカルを企画され、いろいろな方たちの協力で創り上げられた舞台は、出演者やスタッフ総勢130人の思いが詰まったファンタジーの世界。「一人ひとりが目に見えない大切な何か『青い鳥』を見つけてほしい。そしてそのような豊かな心を、未来を担う子どもたちへ伝えることができれば」と熱演されました。



▲5歳から70歳代の幅広い市民出演者が一丸となった舞台

お知らせ

広報なんたんは、平成20年度から、隔月の第2金曜日発行となります。次回の発行は5月9日です。



▲俳句の心について話される丸山冬鳳先生

南丹市内で俳句に親しむ者同士が、一同に集まり、交流を深めながらお互いの感性を磨こうと、市文化協会連絡協議会（高木茂会長）の主催による南丹市俳句同好者の集いが市日吉町生涯学習センターで行われ25人の参加がありました。

講師に京鹿子同人会副会長の丸山冬鳳先生を招き「俳句の心」と題した話を聞いた後、自然の移ろいや春が待ち遠しい想いを詠った句を参加者が披露。「万葉の心となりて 初硯」や「雪景色 この里が好き 今が好き」など、思い思いの情景が詠まれました。

「雪景色 この里が好き 今が好き」

(2/15 南丹市俳句同好者の集い)

南丹市婦人会（畑ふみ子会長）による恒例の第25回きさらぎフェアが市国際交流会館で行われました。

市内の婦人会各支部の活動を発表する場として手芸や工芸作品、手作りのエコグッズなどが展示されたほか、アクセサリー作りなどの体験コーナーも設けられました。また、地域の農産加工グループのおもちやお菓子などの出展もあり、参加者同士の交流や、訪れた人たちの笑顔があふれる一日になりました。



▲アクセサリー製作を体験する参加者ら

「手作り作品と笑顔並んだ一日」

(2/17 第二十五回きさらぎフェア)

「守り、創る、美山の魅力と可能性」



▲美山での活動が紹介されたパネルディスカッション

美山文化ホールで第2回美山フォーラムを、佛教大学、美山まちづくり委員会、南丹市の主催で行いました。フォーラムでは、「人は誰でも主役になれる」と題し、徳島県上勝町で年間売上高3億円以上の葉っぱビジネスを成功させ、過疎の町を再生に導いた株式会社いんどり副社長の横石知二さんが講演されました。また、美山名水株式会社の田中綜治社長、美山在住で京都新聞社の井上年央記者、佛教大学「美山研究会」の学生らによるパネルディスカッションを行い、それぞれの活動や取り組みが話されました。

(2/27 第二回美山フォーラム)

「夜間中学の生徒講演 ―学ぶ喜び、宝物―」

(2/16 南丹市立図書館主催文化講演会)

南丹市立図書館主催の文化講演会が園部公民館で行われました。

第1部では、夜間中学校を描いたドキュメンタリー映画「こんばんは」を上映。第2部では、京都府で唯一の夜間中学校の洛友中学校に通う生徒の姜徳順さんをはじめ、教師の小林民和さん、学生ボランティアの山根実紀さんを招いた講演が行われました。夜間中学校は、戦後の混乱期に、学校に行けなかった人たちに学ぶ場を提供するため、昭和22年に大阪で始まりました。姜さんは「さまざまな人と学んだことが私の宝物です」と語っていただきました。



▲夜間中学校の話をする小林民和先生（左）



■ J丹musica (タンタンムジカ) 初公演

昨年の夏から練習を重ね、2月24日に初公演を迎えられたJ丹musica。南丹市の子どもから大人までが一緒に作りあげた手作りのミュージカルは、追真の演技の連続で、見応えのある舞台でした。(14ページに関連記事)

今月の表紙…3月11日に園部幼稚園で行われたお別れ会。卒園する園児たちは、これまでお世話になった先生たちに、感謝の思いを込めて書いた似顔絵を贈りました。

四月からは、まちの話題はケーブルテレビ「9ちゃんねる」の中でいち早くお届けし、広報誌は奇数月の第二金曜日の隔月発行になります。より読みやすい広報誌となるよう、情報を充実させるとともに、基本となる文字を大きくします。紙面の構成も工夫し、多くの市民の皆さんの顔が見え、声が聞こえる広報誌づくりを目指します。

(S)

編集後記

DATA	● 総人口：35,554人(-62)
	(男：17,125人・女：18,429人)
	(-24) (-38)
● 世帯数：13,525世帯(-17)	
	(平成20年3月1日現在)
	()内は前月比



わが家の
アイドル

●園部町 けんご
平岩 賢悟くん (0歳3ヵ月)

「兄弟仲良く、素直で優しい子になってね」

(パパ・ママより)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは情報推進課広報広聴係まで

広報
なんたん

編集・発行：南丹市役所 企画管理部情報推進課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0019 FAX:0771-63-0653
URL: <http://www.city.nantan.kyoto.jp>
e-mail: jouhou-s@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、再生紙に、ソイインキ(大豆油)で印刷しています。